



# 四中たより

進もう おおらかに  
学ぼう うるわしく  
励もう たくましく

第7号 R3.9.15(水)

発行責任者 岡中 学

TEL 31-0911

## 主体的な学びを引き出す 第1回校内授業研究会

今月9日(木)に、各校の校長先生などを助言者にお迎えし、第1回目の校内授業研究会を開催しました。年間4回の研究会を計画していましたが、6月の研究会はコロナ禍によりやむなく中止としましたので、今回が今年度初となります。私たち教師は、生徒の「わかった」「できた」「授業が楽しい」「もっと調べてみたい」を求めて授業改善に取り組んでいます。この研究会は、その方向性と生徒の学びの様子を確認し、生徒のこれから生きて働く骨太な学力向上につなげていく場になります。

今年度は、

**「仲間・自分自身とのかかわり、教科とのかかわりを通して一人ひとりを高める授業づくり～「わかった」という実感と自分ごととなる学びを求めて～」**の研究主題で取り組んでいます。

この取り組みを通して、

**「主体的にかかわる力、チームで働く力を生かし、仲間と共に成長しようとする生徒」**

**「主体的に学ぶ力、考え抜く力を身につけ、自分ごととなる学びをする生徒」**

**「主体的に挑戦する力、前に踏み出す力を発揮し、積極的に何事にも取り組もうとする生徒」**を育てたいと考えています。

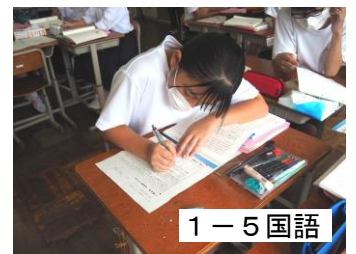
そのために、授業の場面で、「市松模様・T字型配置のグループで話し合う・聞き(訊き)合う・教え合う・説明し合う」「授業の振り返り」などを工夫し、学びが深まるようにしています。

そして今回は、「主体的な学びを引き出す単元づくり」を共通テーマに設定し取り組みました。

今回は、1-1国語「物語文」、1-2体育「バレーボール」と社会「ヨーロッパ州」、1-5国語「物語文」、2-1数学「1次関数」、2-2音楽「速度の変化を工夫して歌おう」、2-4美術「鳥獣戯画の魅力」、2-5組理科「動物の体のつくりとはたらき」、3-1理科「酸・アルカリと塩」、3-4音楽「曲の仕組みを理解して表現しよう」、3-5社会「基本的人権の尊重」の授業でした。先生方は、教材が持つ面白さや「わかった・できた」喜びをどうやって実感させるか、仲間との対話を通して、どうやって、それぞれの見方や考え方を広げたり深めたりさせられるかなど試行錯誤しながら授業を組み立てています。参観いただいた助言の先生方からは、生徒の落ち着いた授業への取り組み、穏やかであたたかい話し合い活動の様子などに対してお褒めの言葉をいただきました。当然、課題点もありますので、これからの授業改善につなげていきたいと思ひます。



1-2 体育



1-5 国語



2-4 美術



2-5 理科



3-1 理科



3-5 社会

# 内にも外にも誇れる四中

## ① 四中スタンダード高め隊(内にも誇れる！)

本校では、年度はじめに、「四中スタンダード高め隊」を全校から募集しています。この「高め隊」は、一人ひとりが自主的に参加し、理想の四中を創っていく自治的な活動です。

1学期には、「自転車小屋清掃」と「あいさつ運動」を行いました。この「自転車小屋清掃」は、生徒の皆さんからの要望を受けたもので、隅々まできれいに掃いたり、蜘蛛の巣などもきれいに払ってくれたりして、皆のためにフットワーク軽く活動してくれました。

2学期に入ってすぐに、「エコキャップ回収キャンペーン」にも取り組みました。この活動は、世界の子どもを救うことを目的に、普段行っているペットボトルキャップ回収を学年別クラス対抗にして、より多くのキャップを回収し、ポリオワクチンを世界中の子どもたちへ届けようというものです。8月25日から31日の5日間で集まったキャップの総計は、なんと51,129個でした。生徒の目は「世界への貢献」にも向いていることを感じて嬉しくなりました。



## ② あたたかさやと勇氣ある行動(外にも誇れる！)

今月の9日(木)の放課後、地域の方から一本の電話が。内容は、錦町のエコープ・いちご畑の近くで、自転車で転んでケガをしたお年寄りを、下校途中の四中生、3年生の佐藤太誠さん、高橋辰騎さん、梅木大智さん、佐藤翔さん、佐藤正宗さんが介助してくれたというものです。声をかけてくれたり、出血の手当てをしたり、交番まで連絡に行ってくれたり、救急車が到着するまで付き添ってくれたりしました。その場で一緒に対処してくれた地域の方からの連絡でした。「困っている人がいたら手を差し伸べる」と言うには簡単ですし、わかってはいるものの、実際にそこにケガをして倒れている人がいたら…、実行するには勇氣が必要だと思います。5人のあたたかい心と勇氣をもった行動に拍手を送ります。近くにこのような仲間がいてくれて誇らしいです。

## 堂々と発表しました

今月の7日(火)は本校を会場に飽海地区少年の主張大会が開催される予定でしたが、このコロナ禍でビデオ審査となりました。本校からは、3年生の伊藤優花さんと柳原愛海さんが出場しました。前日月曜日の全校朝会では、ステージ上から全校生徒に対して堂々と発表をしました。伊藤さんは「野球が教えてくれたこと」と題し、これまでの部活動を通して学んだことを、柳原さんは「私は逃げない」と題し、苦手なことから逃げない心の強さについて発表しました。二人の情感を込めた発表は心に響きました。柳原さんは、優良賞を受賞し庄内ブロック大会に進みます。

また、昨日14日(火)には、飽海地区英語弁論大会が開催されました。暗唱の部には、1年生の佐藤あげはさん「City Lights」、3年生の奥泉俐空さん「I have a Dream」、佐藤春花さん「Miss Evans on the Titanic」が、スピーチの部には、3年生の今井美羽さん「Thanks to Kendo」の計4名が出場しました。こちらも、前日の全校朝会でステージ上から発表し、見事な英語表現で全校生徒に訴えかけました。これからは、グローバル化が進みます。英語を使ったコミュニケーション能力はさらに大切になっていくと思います。春花さんは、暗唱の部第1位で県大会に進みます。

ステージ上で発表するのは、とても緊張するものです。でも、話を聞く生徒の皆さんがしっかりと目と耳と心を傾けて聴けるので、発表する人も頑張ることができます。これも「四中の誇り」の一つです。

### 前田体育振興基金で購入

公益財団法人前田体育振興基金様より助成金をいただきました。体育用の備品は高額なものが多いのですが、日常の体育や部活動で活用できるデジタイマーを購入することができました。大切に使用させていただきます。

